

文系がまちづくりに 関心をもつ 環境づくり

住民活動の
サポート役

行政政策学類 准教授 博士（都市科学）

西田 奈保子

NISHIDA Nahoko

研究室 URL <http://kojinyoseki.adb.fukushima-u.ac.jp/top/details/254>

【専門分野】行政学、都市・地域政策（とくに居住にかかわる政策分野）

【プロフィール】東京都立大学大学院都市科学研究科都市科学専攻博士課程修了。政策決定における情報の非対称性や自治の成立条件、住宅政策の研究を専門としている。



専門である行政学の知見を活かして、いわき市豊間地区の復興協議会を手伝っています。この協議会は地区住民による組織で、震災の起きた年の夏に、住民の発案で発足し、散り散りになった豊間地区の人々に対して地区の情報を発信し続けるとともに、住民意向を知るためのワークショップを主催するなど、人々と故郷のつなぎ目役を担っています。住民や住民組織が現在感じている課題や要望を、行政に上手く伝えられるようサポートするのが私の主な役目です。ゼミ生も、地区の紹介パンフレットや震災記録の作成、家庭料理の商品化など、この地区に学びながら復興行政の課題を探っています。たとえば地区のお母さんたちと試作したポーポー串焼

きは、いわきの浜では有名な秋刀魚料理をアレンジしたもので、復興商店にかかわる皆さんの努力で新定番となっています。

今わかってきた課題は、災害を通して生まれる問題の繰り返しです。災害時に判明した問題は平常時に戻るにつれて対応が後回しになりがちで、次に災害が起きるまでに十分な対策が取られないことが多々あります。現在直面している震災復興に益することも大事にしつつ、今回の震災を通してわかった課題を一般化し、今後起こりうる災害に教訓として伝えられるよう、客観性のある研究成果を出すのが当面の目標です。



研究概要

行政学は、行政組織による意思決定が関係して起こる現象を、多様な主体間の情報の非対称性等に着目して読み解き、政策的思考で対策を考える学問分野です。



住民参加や社会調査に基づいた現状把握に重きをおいて、自治が成り立つ条件を探せそうなテーマ、活動に関心があります。学生とともに実施する必要があるプランの場合は、実施予定年度よりも前の秋・冬にお声掛けください。

こんなことができます!

住民参加手法のアドバイスや地域実態調査のお手伝い

想定するパートナー

地域の諸団体、自治体、国

具体的な連携、事業化のイメージ

住民参加の運営支援、社会調査の設計等の支援

これまでの取組事例

- ・被災地域の住民組織活動の手伝い
- ・集落実態調査等に基づく自治体計画への提案
- ・自治体のアンケート調査の設計・分析支援

関連情報

・「仮設住宅と災害公営住宅」『大震災に学ぶ社会科学第2巻 震災後の自治体ガバナンス』小原隆治・稲継裕昭編著所収(2015) 東洋経済新報社

私たちの研究室自慢!

被災地や先進事例のフィールドワークを重視しながら、非常時と平時、平時と非常時をつなぎ、住民と行政をつなぐ復興行政の課題を探っています。

